

雇用と暮らしを守れ

加藤 古志郎 議員

(日本共産党茂原市議員)

問 昨春秋以来「派遣切り」で職と住を同時に失う労働者が激増している。市の巨額補助金を受ける大企業でも昨年末で437人が雇い止めされている。

市として、暮らしと雇用を守るため雇い止めの中止を申し入れるべきではないか。

答 2006年以降多くの企業が「請負」から「派遣」へ雇用形態を切り替えた結果、3年後にあたる本年がこの派遣期間の雇用契約の期限切れを迎えることとなっている。本来ならば、派遣労働者の3年間の契約期限が切れた後に、企業が直接雇用することとなっているが、世界的な景気低迷により、派遣社員の失業に拍車がかかっている。

昨年12月に厚生労働省から都道府県労働局長宛に、偽装請負の疑いのある事業主に対する監督指導、また併せて労働者派遣契約の中途解除及び雇用止めに対する指導等を徹底することとなっている。

また、知事と千葉労働局長の連名で、文書により雇用維持等の要請を行っており、今後とも国・県の動向を注視しながら、関係機関と連携を図るとともに、事業所に対し法律の遵守に

ついで機会あるごとに話をし
ていきたいと考えている。



その他の質問事項

- ・補正予算と雇用創出について
- ・中小企業資金融資の拡充について
- ・国保税引き下げと保険証未交付問題について
- ・道路排水、住宅等の整備について

交差点の渋滞緩和対策

細谷 菜穂子 議員

(十日会)

問 茂原市内の中心地域の交差点、県道茂原長生線の三貫野交差点、高師の交差点、つくも苑交差点などは渋滞がひどい。特に、三貫野交差点がひどいため、安全面も考え早急に右折補助信号機を設置していただきたいと思うが、考えを伺いたい。

答 これらの交差点での渋滞原因は、主に右折車両に起因するものであり、改善策として右折レーンの設置が有効であるが、交差点局部改良を実施する



三貫野交差点

には、用地補償が伴うことから、進展しない状況にある。
特に、渋滞の激しい県道茂原長生線三貫野交差点は、東部方面から千葉方面への右折車両が多いことから、通勤時間帯渋滞が発生している。
これまでも、補助信号機付きの改善を図るべく県に対し要望を行ってきたが、拡幅予定地に両総用水南部幹線の構造物が道路を狭めており、直ちに局部改良を実施することは難しい状況である。
現在、県では主要地方道千葉茂原線と茂原環状線との交差点交差点を含め、2箇所の交差点改良を実施しているが、市としては、市内の渋滞解消、また安全対策の観点から、今後も千葉県へ要望していきたいと考えている。

その他の質問事項

- ・少子化対策について
- ・雇用と社会環境について
- ・駅前学習プラザの方向性について
- ・茂原市子ども読書活動推進計画について
- ・学校支援地域本部事業について

生活保護行政について

平 ゆき子 議員

(日本共産党茂原市議員)

問 年末年始の東京・日比谷公園で取り組まれた「年越派遣村」では、働く能力があっても、住所がなくても生活保護が利用でき、迅速な保護決定がされるなど、生活保護制度本来の役割が発揮された。
本市でも同様の対応がなされるのか伺いたい。

答 生活保護については、適正実施を推進しているが、景気の低迷に伴い、全国的に雇用情勢は急激に悪化している。
東京都では、労働組合や市民団体が実行委員会を組織し、日比谷公園内に「年越派遣村」を開設し、被保護者に対しては、緊急支援が実施されたところである。

生活保護法は、申請行為を前提として、その権利の実現を図ることを原則としている。
一方、保護の実施期間としては、要保護者が急迫した状況にあるときは、保護の申請がなくとも必要な保護を行なうことができる旨を明記している。
生活保護は、国民の最後の

セーフティネットとなる制度であることから、その運用にあたっては、生活保護行政の基本方針に添って支援を行ってまいりたいと考えている。
なお、茂原市の派遣切りによる生活保護の相談状況であるが、昨年10月から現在までに、6件の相談があり、その内3件を受理し保護を開始したが、1件は転出のため廃止した状況となっている。

今後も、相談者の心情に十分配慮しつつ、離職者に対する支援等、相談者に対しては親切丁寧に対応し、保護の申請権を侵害することなく対応していく。



その他の質問事項

- ・第4期介護保険事業について
- ・地域医療について
- ・生活環境整備について

「安心メール」の実現を

田丸 たけ子 議員

(公明党)

問 防犯・防災対策で重要なのが正確な情報を迅速に入手